

4	下水道局	地球温暖化防止計画「アースプラン2004」の推進 (http://www.gesui.metro.tokyo.jp/oshi/inf0256.htm)
事業概要	<p>下水道局の事業活動では、都内の電力消費量の1%を占める膨大な電力を消費し、温室効果ガスを87.6万t-CO₂（平成20年度）排出している状況である。</p> <p>今後、公共用水域の一層の水質向上などを目的とした、合流式下水道の改善事業下水の高度処理の導入などにより、温室効果ガス排出量がさらに増加することが見込まれることから、一刻も早い計画的な取組みが求められている。</p> <p>そのため、当局では、自主的かつ積極的な地球温暖化対策を図っていくために、平成16年9月、下水道事業における地球温暖化防止計画「アースプラン2004」を策定した。下水処理により発生する温室効果ガスの削減対策や温室効果ガスの排出が少ない資源・エネルギーへの転換などの取組により、2009年度（平成21年度）までに1990年度（平成2年度）比で6%以上削減することとしている（2009年度目標排出量：95.6万t-CO₂以下）。</p>	
これまでの経過	<p>平成20年度（計画：5年目）までの稼働実績は下記のとおり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 水処理工程で消費する電力量の削減（微細気泡散気装置、省電力攪拌機の導入） 森ヶ崎水再生センター、八王子水再生センター など5カ所 2. 汚泥の高温焼却の導入（更新・改良） 南部スラッジプラント、清瀬水再生センター など6カ所 3. 汚泥炭化炉の導入 東部スラッジプラント 4. 再生可能エネルギーの活用 （小水力発電）葛西水再生センター、森ヶ崎水再生センター （バイオマス発電）森ヶ崎水再生センター（PFI事業運用） （下水熱利用事業）芝浦水再生センター 5. 燃料転換の推進（重油から都市ガスへ） 多摩川上流水再生センター、清瀬水再生センター 6. 汚泥のガス化による発電システムの研究・開発 清瀬水再生センター内で実証設備での研究を完了（H19年2月完了） 砂町水再生センター内で実証設備での研究を完了（H19年8月完了） 	
現在の進行状況	<p>平成21年度（計画：6年目）の進行状況は下記のとおり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 水処理工程で消費する電力量の削減（微細気泡散気装置、省電力型攪拌機の導入） 清瀬水再生センター（H21年7月稼働）、浅川水再生センター（H21年4月稼働）、 八王子水再生センター（H21年4月稼働） 2. 汚泥の高温焼却の導入 南部スラッジプラント（H21年10月稼働） 	
今後の見通し	<p>「アースプラン2004」は今年度が計画期間の最終年度である。各取組の実施により平成21年度の当局温室効果ガス排出量見込みは約87.1万t-CO₂と1990年度比で約14%削減しており、目標である1990年度比で6%以上の削減は達成する見込みである。</p> <p>今年2月に、2020年度に2000年度比で25%の温室効果ガス削減を見据え、2014年度までに2000年度比で18%以上の削減に向け具体的取組みを示した「アースプラン2010」を策定した。来年度以降は、このプランに基づき温室効果ガス削減の取組みを実施していく。</p>	
問い合わせ先	下水道局 計画調整部 計画課	電話 03-5320-6594